ソニー損保の自動車保険 やさしい運転キャッシュバック型

＊ＡＰ３２９＊

やさしい運転 キャッシュバック型

ドライブカウンタ®
SADC-01ST

取扱説明書

非売品

※ドライブカウンタは、ソニー損保の登録商標です。

このたびはソニー損保の自動車保険「やさしい運転キャッシュバック型」にお申し込みいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、この取扱説明書を大切に保管してください。

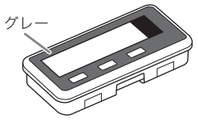
ご不明な点がございましたら、当社お問い合わせ窓口（電話番号：0120-808-278）までお問い合わせください。

●本器は、内蔵する加速度センサで運転中のお車の挙動を検知し、運転の状況を計測するものです。
表示される点数とスムーズ運転回数により運転の状況をご確認いただけます。
なお、位置情報や映像・音声、速度情報は計測しません。また、通信機能も搭載していません（当社が自動的にデータを収集することもありません）ので、ご安心ください。

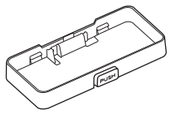
1 取付キットの確認

本体（ドライブカウンタ）：1 台

色：グレー

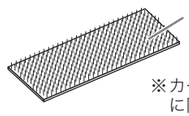


ホルダ：1 個



※誤検知防止のため、4 ②の段階までホルダと本体はセットしないでください。

カーペット用シート：1 枚



おもて（マジックテープ®）

※カーペットに設置する場合に限り、使用します。

2 注意事項をお守りください

警告表示の意味

⚠危険：この表示は注意事項を守らないと、火災や事故などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠警告：この表示は注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり車に損害を与えたりすることがあります。

記号について

強制　禁止　分解禁止　ぬれ禁止　火気禁止

取り付け上の注意

⚠ 危険

運転や視界を妨げる場所に設置しないでください
ハンドルやブレーキペダルの付近などの運転に支障をきたす場所、前後左右の視界を妨げる場所には取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。また、国土交通省の定める安全基準（道路運送車両の保安基準）にそぐわない設置はしないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所に設置しないでください
エアバッグが正常に動作しないおそれのある場所、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされるおそれがある場所には取り付けないでください。事故やけがの原因になります。また、作業をはじめる前に自動車の取扱説明書に記載されているエアバッグ関連の注意事項を確認してください。

⚠ 警告

本製品を確実に取り付けてください
しっかり取り付けていないと、走行中にはずれたり、落下するなど、事故やけがの原因になります。また、他の物を破損させるおそれがあります。万一落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので、あわてずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

改造や分解をしないでください
本体の分解、改造は危険ですのでおやめください。火災や感電の原因になります。

ご使用上の注意

⚠ 危険

運転中に操作しないでください
運転中の操作は、前方不注意による事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で本器を操作してください。

⚠ 警告

本製品を濡らしたり、濡れた手で操作しないでください
感電や故障の原因になります。本製品は防水仕様ではありません。水滴などがかかったときは、すぐに吸水性のある柔らかい布で拭いてください。

本製品に強い衝撃を与えないでください
走行中にはずれたり、落下するなど、事故やけがの原因になります。また、他の物を破損させるおそれがあります。

火を近づけたり、火の中に投げ込まないでください
電池が破損し非常に危険です。また、火災やけがの原因になります。

3 設置から申告、返送までの手順

設置日から 180 日間以上 → 365 日まで

ドライブカウンタがソニー損保に届いてから約 2〜3 週間後

手順.1			手順.2		手順.3		
ドライブカウンタの設置	計測	申告コードの表示	申告コードの入力	点数に応じてキャッシュバック	ドライブカウンタの返送		運転計測結果レポートをご提供
ドライブカウンタ（とホルダ）をご契約のお車に設置します。	お車が動き出すと自動でドライブカウンタが起動します。	ドライブカウンタの申告可に▮マークが表示されたとき以降に、「申告ボタン」を押します。	当社ウェブサイトにて申告コードを入力します。	※点数が 59 点以下の場合、キャッシュバックはありません。	当社より返送用封筒をお送りします。ドライブカウンタをその返送用封筒に入れ、当社にご返送ください。		ドライブカウンタの運転計測結果レポートを E メールでご提供（PDF ファイル）します。

4 ドライブカウンタの設置

❶ 設置場所を決めます

ドライブカウンタをご契約のお車に設置します。（ご契約のお車の車名や登録番号は、同封の送付状に記載しています。）
運転やエアバッグの動作の支障にならない場所に設置してください。（湾曲している場所には設置できません。）
※人や物にあたったりなどしてドライブカウンタが動くと、「急加速・急減速」と誤検知する可能性がありますので、ご注意ください。

設置場所の例

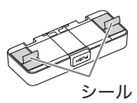
○ダッシュボードの上
○インパネの横
○シフトレバー付近
○助手席シートの下

悪い設置例　（以下のような場所には設置しないでください。）

×アクセルペダルやブレーキペダルの付近
×人や物にあたる場所
×革張りの場所
×クーペや 3 ドアのお車の場合、助手席を倒したときに本体にあたる位置

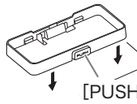
☞ 設置場所の例のイメージ（イラスト）は、同封のスタートガイドをご参照ください。

❷ ドライブカウンタをご契約のお車に設置します　（※設置方法の詳細は、スタートガイド 2 をご参照ください）



シール

ホルダの両面テープからシールをはがします。（2 カ所）

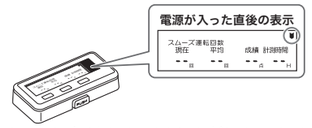


[PUSH]ボタン

ホルダのみを設置場所に貼り付けます。
※[PUSH]ボタンがある方を手前側・下側にしてください。

㋑奥　㋐手前

㋐本体の下部をホルダの手前側に合わせます。
㋑本体の上部をホルダの奥側にはめ込みます。



電源が入った直後の表示

“カチッ”と音がするまで、確実に取り付けます。

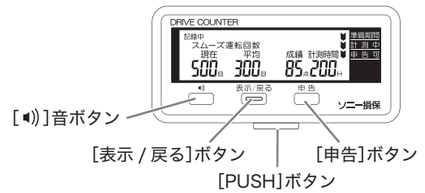
※ホルダにセットすると、“ピロピロ”と音が鳴り、自動で電源が入ります。

設置場所を変更する場合、お車から取り外す場合

設置後に、ドライブカウンタの設置場所を変更される場合やドライブカウンタをお車から取り外す場合は、**必ず本体をホルダから外した後に**、ホルダをお車から外してください。
※本体をホルダにセットした状態のまま動かすと、「急加速・急減速」と誤検知することがあります。
※お車の買替えなどで、ご契約のお車を変更（入替）される場合は、ドライブカウンタを「変更後（入替後）のお車」に付け替える必要があります。
その場合も、必ず上記の手順で「変更前（入替前）のお車」からドライブカウンタを取り外してください。

5 操作と画面の表示

❶ ボタン操作



[🔊]音ボタン
・操作音や急発進・急ブレーキ時の通知音をオン / オフします。

[表示 / 戻る]ボタン
・画面が白い状態（スリープ状態）から画面を表示します。
（※お車が動き出すと自動で画面を表示します。）

[申告]ボタン
・「申告可」に▮マークが表示されたとき以降に、[申告]ボタンを押すと、申告コードを表示します。

[PUSH]ボタン
・本体をホルダから取り外す場合、PUSH ボタンを押しながら本体を取り外します。

❷ 画面の表示 ー 各種マーク

[⏸]ポーズマーク
・本体をホルダから取り外すと表示されます。この間、計測を一時停止します。
本体をホルダにセットすると、この表示が消え、計測を再開します。

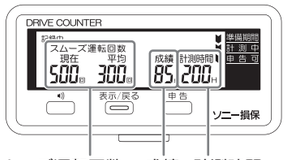
[🔇]音オフマーク
・操作音や急発進・急ブレーキ時の通知音がオフ状態であることを表示します。

[ ]電池マーク
・電池の寿命が近づいた場合、点滅表示します。

うらへつづく

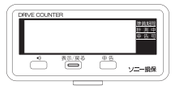
❸ 画面の表示 ― お車の運転中

[表示 / 戻る]ボタンを押すと、画面を表示することができます。(お車が動いている間は、自動で画面を表示します。)



スムーズ運転回数　成績　計測時間

※3 分間以上停止した場合、自動で表示が消えます。



※お車の停止中は、[表示 / 戻る]ボタンを押すと、画面が表示されます。

スムーズ運転回数

・[現在]スムーズな発進・停止の「現時点での連続回数」を表示します。
・[平均]運転を開始されてからこれまでのスムーズな運転(連続)回数の「平均」を表示します。
※スムーズ運転回数は、100 回増えるごとに通知音でお知らせします。

スムーズな発進とは・・・急アクセルがなく、スムーズに発進された場合にカウントします。
スムーズな停止とは・・・急ブレーキがなく、スムーズに停止された場合にカウントします。
※お車が 3 秒以上停止した場合に、その前後の停止・発進をカウントします。

急発進・急停止(急ブレーキ)を検知すると、スムーズ運転回数がクリアされます。

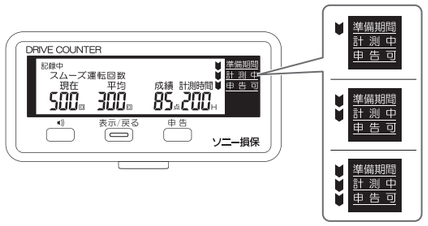
成績

・計測した加速・減速の状況から成績を 100 点満点で表示します。
・点数は計測開始後の運転時間(の合計)が約 5 時間になると、表示され始めます。その後は約 2 時間おきに点数を更新します。

計測時間

・ドライブカウンタで計測したお車の走行時間を表示します。

❹ 画面の表示 ― 準備期間・計測中・申告可の状態



準備期間

・本体をホルダにセットした直後は、「準備期間」として、成績(点数)は計算しません。
※ホルダにセットした後の運転時間(の合計)が約 1 時間になると、「計測中」に移行します。

計測中

・「準備期間」が終わると、「計測中」に移行します。「計測中」以降の加速・減速の状況を計測し、成績(点数)を計算します。
※「急発進」「急ブレーキ」を検知した場合、原則として " ププッ " と音でお知らせします。

申告可

・下記の条件を全て満たした場合、「申告可」に▼マークが表示されます。「申告可」に▼マークが表示されたとき以降に「6 ②計測結果の申告(設置日から 180 日後以降)」に従い、計測結果を当社ウェブサイトにて申告してください。

「申告可」に▼マークが表示される条件

・契約車両にドライブカウンタが設置されている期間が、180 日間以上であること。
・ドライブカウンタでお車の走行状況を有効に計測した時間が、20 時間以上であること。
・ドライブカウンタでお車の走行状況を有効に計測した日数が、10 日以上であること。
※ドライブカウンタに表示される「計測時間」は上記の「お車の走行状況を有効に計測した時間」とは異なることがありますので、ご注意ください。
詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。

6 計測結果の申告(設置日から180日後以降) 申告がない場合はキャッシュバックはされません

❶ 計測の開始

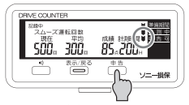
お車が動き出すと、自動でドライブカウンタが起動します。(スイッチ操作は不要です。)
計測開始後の運転時間(の合計)が約 5 時間になると、画面に点数が表示され始めます。
※「急発進」「急ブレーキ」を検知すると、原則として " ププッ " と音でお知らせします。
※本体をホルダにセットした後の運転時間(の合計)が約 1 時間になると、計測を開始します。(計測開始は通知音 " ピロピロ " でお知らせします。)

❷ 計測結果の申告(設置日から 180 日後以降)

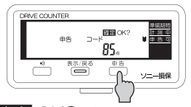
設置期間が１８０日間以上など、所定の条件を満たすと点数を申告できます。(申告が可能になったら通知音でお知らせします。)
本体の「申告可」に▼マークが表示されたとき以降に、「申告コード」を表示し、当社ウェブサイトに「申告コード」を入力してください。
※申告コードを表示すると、点数が確定します。

「申告コード」の表示方法

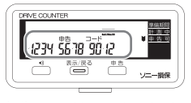
※「申告コード」を表示する際は、本体(とホルダ)をお車に設置した状態のままで下記の操作を行ってください。(または、一旦本体をホルダから外したうえで、下記の操作を行ってください。)
本体をホルダにセットした状態のままで本体を動かすと、「急加速・急減速」と誤検知することがあります。
※画面が白い状態(スリープ状態)のときは、[表示／戻る]ボタンを押してから、下記の操作を行ってください。



「申告可」に▼マークが表示されたとき以降に 申告 を押します。



「確定 OK?」が表示されたら 再度 申告 を押します。



「申告コード」をメモします。

入力された「申告コード」を当社にて点数(キャッシュバック率)に変換し、「ウェブサイトに入力いただいた指定口座」にキャッシュバックします。(59 点以下の場合は、キャッシュバックはありません。)
※<u>当社ウェブサイトの URL は保険始期後 180 日後頃に、「保険契約のお申込み時に登録された E メールアドレス」宛てに E メールでお知らせします。</u>
ご契約後、E メールアドレスが変更になった場合は、当社ウェブサイトの「ご契約者ページ(マイページ)」でEメールアドレスの変更手続きを行ってください。

点数とキャッシュバック率

点数	キャッシュバック率※
90 点以上	20%
80 点～ 89 点	15%
70 点～ 79 点	10%
60 点～ 69 点	5%
59 点以下	(キャッシュバックなし)

※保険料には、キャッシュバック率が適用されない部分があるため、ご契約の条件等により、キャッシュバック額は年間保険料にキャッシュバック率を掛けた金額よりも小さくなることがあります。

申告コードが自動で表示された場合、速やかに申告を行ってください

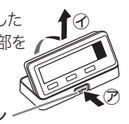
・「申告可」に▼マークが表示されたとき以降に、上記「『申告コード』の表示方法」の操作をせず設置日から 365 日が経過した場合、「申告コード」を自動で表示します。

7 ドライブカウンタのご返送

「申告コード」の入力手続きが完了すると、当社より返送用封筒をお送りします。その返送用封筒にて、本体とホルダを当社に返送してください。

❶ 本体をホルダから外します

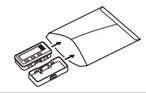
[PUSH]ボタンを押したまま(㋐)、本体の上部を持ち上げます(㋑)。



❷ ホルダをお車から外します

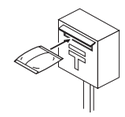
※両面テープで設置いただいた場合、ホルダをねじるようにして持ち上げると、外しやすくなります。

❸ 返送用封筒に本体とホルダを入れます



⚠ 本体はホルダから外した状態で封筒に入れてください。

❹ 当社に返送します



⚠
●上記①の㋐および㋑のように、必ず本体をホルダから外した後に、ホルダをお車から外してください。(本体をホルダにセットした状態のまま動かすと、「急加速・急減速」と誤検知することがあります。)
●カーペット用シートおよび両面テープ(いずれもプラスチックで出来ています)は、お住まいの自治体の区分にしたがって、廃棄してください。

運転計測結果レポートのご案内

ドライブカウンタをご返却いただくと、お客様の運転についての計測結果を PDF ファイルにて運転計測結果レポートとして提供いたします。

ドライブカウンタを返送 → ソニー損保に届いてから約 2～3 週間後 → E メールでご連絡 → PDF ファイルにてご確認ください。

⚠ 本器をご返送いただけない場合や分解された場合は、原則として、実費相当額(5,000 円)を請求させていただきます。

8 こんな時どうすれば？と思ったら

	ご質問	回答
設置	●運転席の下に設置してもいいですか？	●ドライブカウンタの接着が外れてブレーキペダルの下に入り込むおそれがありまので、運転席の下には設置しないでください。
	●リアボードの上に設置してもいいですか？	●セダンタイプの場合は、リアボードの上に設置できます。 ハッチバックタイプの場合は、リアハッチを開閉する際にリアボードが動くと、「急加速・急減速」と誤検知するおそれがあるため、設置しないでください。
	●本体を設置する向きに注意点はありますか？	●縦置き(短辺を下にして、床に対して画面を垂直に設置すること)では設置しないでください。有効に計測できないおそれがあります。「縦置き」のイメージ(イラスト)は、同封のスタートガイド 2 ①をご参照ください。
	●設置場所を変更したいのですが、注意点はありますか？	●設置場所を変更される場合、まず本体をホルダから外してください。そのあとでホルダの設置場所を変更し、本体を再度ホルダにセットしてください。 本体をホルダにセットしたまま動かした場合、「急加速・急減速」と誤検知することがありますので、ご注意ください。
	●ダッシュボードやインパネの横が革張りです。両面テープで設置しても大丈夫ですか？	●革張りの場所に両面テープで設置した場合、両面テープをはがす際に革に跡が残るおそれがあります。革張りの場所には両面テープで設置しないでください。
本体	●本体をホルダに入れましたが、正しくセットできたか不安です。	●本体がホルダに正しくセットできた場合、" ピロピロ " と音が鳴ります。 ホルダに正しくセットできたか不安な場合は、本体を一度ホルダから外し、再度セットしたときに音が鳴ることをご確認ください。
	●ボタンを押しても " ピッ " となりません。故障ですか？	●[🔊] 音ボタンがオフになっていないか確認してください。オンにしても " ピッ " と鳴らない場合は、当社お問い合わせ窓口までご連絡ください。
	●車内温度が高くなり、本体が高温になったとき画面が黒くなりましたが、故障ですか？	●故障ではありません。太陽光等により本体温度が高くなると画面が黒くなることがあります。車内温度が下がり本体が冷えますと元の表示に戻ります。
	●車内温度が低くなり、本体が冷えたとき画面が薄くなりましたが、故障ですか？	●故障ではありません。冬場等に車内温度が低下しますと画面が薄くなることがあります。車内温度が上がり本体が暖まりますと元の表示に戻ります。
	●電池は、どのくらい持ちますか。	●通常の 1 年間程度の走行量では、電池の寿命が切れることはありませんので、ご安心ください。なお、万一電池の残量が少なくなった場合には、ドライブカウンタに [▭] 電池マークが点滅します。 ドライブカウンタの [▭] 電池マークが点滅した場合は、当社お問い合わせ窓口までご連絡ください。
	●電池交換はできますか？	●専用の電池を組み込んでおり、電池交換はできません。分解は火災や感電の原因になりますので絶対に行わないでください。
その他	●車検や運転代行の際など、他人が運転する場合も計測はされるのですか？	●ドライブカウンタは他人が運転する場合も計測します。 ご自身以外の方が運転されるケースで心配なときは、運転される方にも「急発進・急ブレーキの少ない運転」をしていただくようお伝えください。 なお、車検・修理によりお車を整備・修理工場に預ける際は、ドライブカウンタ本体を一時的にホルダから外していただいて結構です。
	●夜間でもドライブカウンタの点数等を確認することはできますか？	●ドライブカウンタの液晶には、バックライト機能はありません。 夜間など、暗いときに点数等を確認される際は、お車の室内灯(ルームランプ)等で明るくしてからご確認ください。
	●「E○○」が表示されました。故障ですか？	●本体のエラーを表示しています。当社お問い合わせ窓口までご連絡ください。
	●どの程度の運転で「急加速」「急減速」と判定されるのですか？	●一般的には次のような発進・ブレーキが該当します。 (急加速)助手席の方が不快に感じるような発進をした場合 (急減速)ハンドルで身体を支えられるようなブレーキ操作をした場合
	●スムーズ運転回数はどのようなときにクリアされるのですか？	●スムーズ運転回数の [現在] 回数は、急発進または急停止(急ブレーキ)があったときにクリアされます。なお、[平均] 回数は、運転を開始されてからこれまでのスムーズな運転(連続)回数の「平均」を表示しますので、クリアはされません。

ソニー損害保険株式会社

(機器に関するお問合せ)カスタマーセンター 0120-808-278 携帯OK PHS OK
受付時間：9:00 ～ 22:00

製造元：オプテックス株式会社　5921630 2014.04
FY14-C235　3000A50y1404-EX1U